

# 柿園管理情報 第1号

令和2年3月11日

## カイガラムシ防除について

砺波農林振興センター  
城端果樹協会

春先における防除や粗皮削りにより、カイガラムシの越冬数を低下させることが、被害低減に有効です。以下を参考に防除を行って下さい。

| 散布時期    | 対象病害虫  | 散布薬剤    | 使用倍率 | 100リットル当たり薬量 |
|---------|--------|---------|------|--------------|
| 3月20日まで | カイガラムシ | 機械油乳剤95 | 20   | 50           |

※ 今年は気温が高く、発芽は平年・昨年(3月26日)より早いと思われます。

薬害のおそれがあるので、発芽前までに散布を終えて下さい。

※ 粗皮削りは機械油乳剤の散布前に行うと、より効果的です。

※ 石灰硫黄合剤との近接散布(10日以上あける)は行わないで下さい

※ カイガラムシの被害が目立ったほ場では、スタークル顆粒水溶剤の幹塗布処理をおこなうと、効果的です。

| 散布時期    | 対象病害虫     | 散布薬剤       | 使用倍率         | 使用回数 |
|---------|-----------|------------|--------------|------|
| 3月25日まで | コナカイガラムシ類 | スタークル顆粒水溶剤 | 20~40g<br>/樹 | 塗布1回 |

※ 1樹当たり20~40gを水で2倍に希釈し、幹に塗布します。

※ 塗布する部分はあらかじめ丁寧に粗皮削りを行い、表面が乾燥しないうちに、はけやブラシなどで塗布して下さい。

※ 使用回数は1回のみです。降雨に合わないよう処理日を選んで下さい。

※ 粗皮削りは主幹のみでなく、主枝や亜主枝の下側や、粗皮の発達したところを重点的に行って下さい。

農薬散布時は周囲の他の作物に薬剤が掛からないよう、十分注意して下さい。

## せん定枝処理について

せん定枝は野焼きせず、ウッドチップパー(せん定枝粉碎機)で粉碎処理して、柿園表面に薄く広げるか、積み上げて堆肥化させてから散布して下さい。なお、紋羽病発生の恐れがあるので、堆肥化していないものは土壌中にすき込まないで下さい。